

目次

〈研究シーズ〉

学部学科等		職名	氏名	タイトル	ページ
環境科学部	環境政策・計画学科	講師	堀 啓子	持続可能な社会 - 生態システムの実現に向けた研究	1
	生物資源管理学科	講師	松田 壮顕	農業分野から考える気候変動の緩和策・適応策	2
工学部	材料化学科 (ガラス工学研究センター 兼務)	教授	松岡 純	ガラスの融液物性・熱物性と破壊現象の研究	3
		准教授	山田 明寛		
	ガラス工学研究センター (材料化学科兼務)	講師	西脇 瑞紀	不均一構造を利用した高性能・高機能プラスチックの開発	4
		講師	木田 拓充	不均一構造を利用した高性能・高機能プラスチックの開発	4
機械システム工学科	教授	片山 仁志	サンプル値制御理論の機械システム制御系設計への応用	5	
人間文化学部	生活デザイン学科	講師	大江 由起	生活行為や年齢層に応じた照明環境に関する研究	6
	生活栄養学科	准教授	青木 るみ子	給食施設の衛生管理に関する実態調査 事業所給食の持続的な食環境整備の促進	7
	人間関係学科	准教授	本宮 裕示郎	教養概念を切り口にして教育目的・目標のより良いあり方を考える	8
	国際コミュニケーション学科	准教授	山本 薫	ヨーロッパ現代思想で読む英国小説	9
人間看護学部	人間看護学科	教授	千葉 陽子	妊婦や子育て中の母親のストレスに関する研究	10
		准教授	板谷 裕美	サステナブルな月経用品の普及に貢献する	11
		准教授	川田 陽子	精神科長期入院患者の退院支援に関する継続教育	12
		准教授	小林 孝子	自閉スペクトラム症のある女性が安心して子どもを育てるための支援	13
		講師	大羽 詩織	看護教育と地域で展開される看護	14

〈研究者別 研究分野・キーワード一覧〉

15-18

※SDGs目標別の研究シーズ：次頁からのSDGs目次を参照してください。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



ガラスの融液物性・熱物性と破壊現象の研究

関連するSDGsの国際目標



工学部 材料化学科¹・ガラス工学研究センター²

教授 松岡 純 准教授 山田 明寛 講師 西脇 瑞紀

研究分野：無機材料

研究室HP：http://www.mat.usp.ac.jp/ceramics/index_j.html (1)

研究室HP：<http://www.mat.usp.ac.jp/CGST/pukiwiki/index.php> (2)

ガラス融液の種々の物性、ガラス固体の熱物性・破壊挙動について、原子・分子レベルの構造の観点から研究を行っている。

■ガラス融液に関する種々の物性とガラス固体の熱物性に関する研究

ガラスの製造は高温での原料の熔融を経て行われる。また、平面ディスプレイパネルや積層電子部品などの成形は、ガラスが流動性をもった、これも「融けた」状態での工程である。つまり、ガラスの高温で融けた状態（融液）の物性はそれら高温プロセスの最適化に必要不可欠である。また、低温（固体状態でのガラス）の熱物性は、物理的なモデルの構築が高温域に比べると比較的容易であり、高温物性を予測・解釈する上での基礎的知見として役立つ。

本研究室では、室温以下から 1800 K までの広い温度範囲で、様々な物性の測定方法の開発とその組成依存性・同位体比依存性を調べている。具体的には、融液状態では酸化還元特性・比熱・粘性・放射熱伝達特性（光吸収特性）・密度・水の挙動について、また室温付近以下では熱伝導率や比熱についての研究に取り組んでいる。

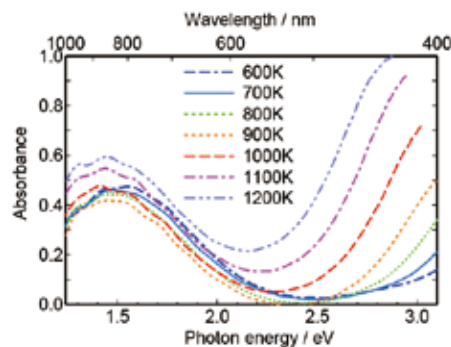


高温融液用分光光度計

■ガラスの変形・破壊現象に関する研究

ガラスの4大特徴は透明であること・様々なイオンを溶かし込めること・様々な形に成形しやすいこと・もろく壊れやすいことである。このうち、最初の三つはガラスの長所であるが、短所である壊れやすさ（脆性）の克服も、実用材料としてのガラスにとって大きな課題である。

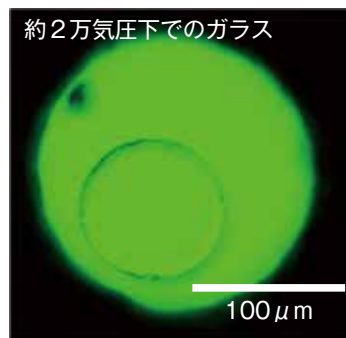
近年、情報電子機器へのガラスの使用が急増し、従来と異なる組成のガラスを使用することになったため、ガラスの破壊特性について従来の経験則が役立たなくなっている。そこで、ガラスの構造と変形・破壊現象の関係に改めて着目し、ガラスの疲労破壊・押し込み変形・本質強度に関する研究に取り組んでいる。



0.5 CuO・25 Na₂O・75 SiO₂ ガラス融液の光吸収スペクトル



2点曲げ強度試験のためのガラスファイバー作製装置



約2万気圧下でのガラス

ガラスの圧縮率測定

<特許・共同研究等の状況>

公的機関、業界団体、ガラスメーカー、電機・電子メーカーなどと、共同研究や受託研究の実績がある。

不均一構造を利用した 高性能・高機能プラスチックの開発

関連するSDGsの国際目標



工学部 ガラス工学研究センター（材料化学科 兼務）

講師 木田 拓充

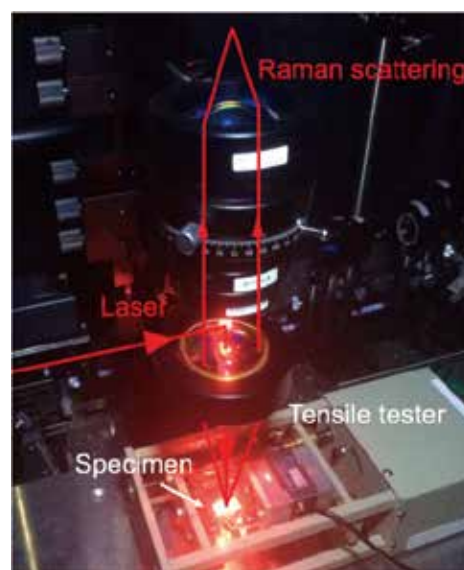
研究分野：高分子物性、高分子構造、分光測定

研究室HP：<http://polym-phys.com/kida/index.html>

プラスチック材料が有する複雑な内部構造（結晶度・結晶サイズ・タイ分子率など）を正確に評価し、力学物性の発現メカニズム解明や高機能プラスチックの開発を行っている。特に、分光測定を用いた構造解析を得意としている。

■ラマン分光法を用いたプラスチックの構造解析

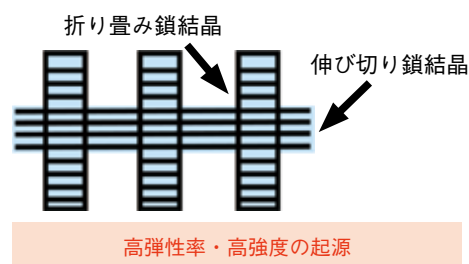
ポリエチレン（PE）などの結晶性プラスチックは内部に結晶と非晶が混在した非常に複雑な内部構造を有している。そのため、プラスチックの力学物性を制御するためには、材料の変形過程における内部構造変化を直接観察することが必要不可欠となる。我々は、ラマン分光装置内に小型の引張試験機や温度制御ステージを組み込むことで、プラスチックの変形過程・結晶化過程で生じる分子鎖レベルの構造変化（結晶度の変化、結晶の配向、結晶構造転移など）を直接観察することに成功した。この方法を用いることで、プラスチックの強度や延伸性を向上させるために必要な結晶構造の条件を解明することに成功しており、今後はより高靱化（高いタフネス）したプラスチックの開発に取り組む予定である。



自作したラマン分光装置内に小型引張試験機を設置している。

■流動結晶化挙動の解析（成形加工過程の結晶化）

プラスチックは成形加工過程において、熔融状態で強い流動を印加された状態で結晶化するため、最終的に分子鎖が流動方向へと高度に配向・伸長した配向結晶が得られる（右図参照）。配向結晶が形成すると、流動方向への弾性率や強度が著しく向上することから、配向結晶を効率的に形成する手法の開発が求められている。我々の研究室では、顕微鏡や赤外・ラマン分光法、X線散乱測定などさまざまな測定手法を駆使して流動結晶化挙動を多角的に観察し、流動結晶化のメカニズム解明に取り組んでいる。将来的には、配向結晶の形成を自在に制御し、効率的に高弾性率・高強度な材料を得る指針が得られると期待される。



■プラスチックの劣化挙動の解明

近年、プラスチックの劣化に伴う物性低下は社会的にも大きな問題となっており、プラスチックの劣化挙動を明らかにすることは重要な課題といえる。我々は近年、プラスチックの分子量分布を制御することで劣化による物性低下を抑えることが可能であることを見出し、分子量分布の最適化による劣化抑制技術の開発に取り組んでいる。



紫外線による劣化の様子

<特許・共同研究等の状況>

- ・2022年度 共同研究 3件（いずれも企業）
- ・2023年度 共同研究 3件（予定、いずれも企業）*共同研究は随時お待ちしております。

サンプル値制御理論の機械システム制御系設計への応用

関連するSDGsの国際目標



工学部 機械システム工学科 教授 片山 仁志

研究分野：制御工学、制御理論

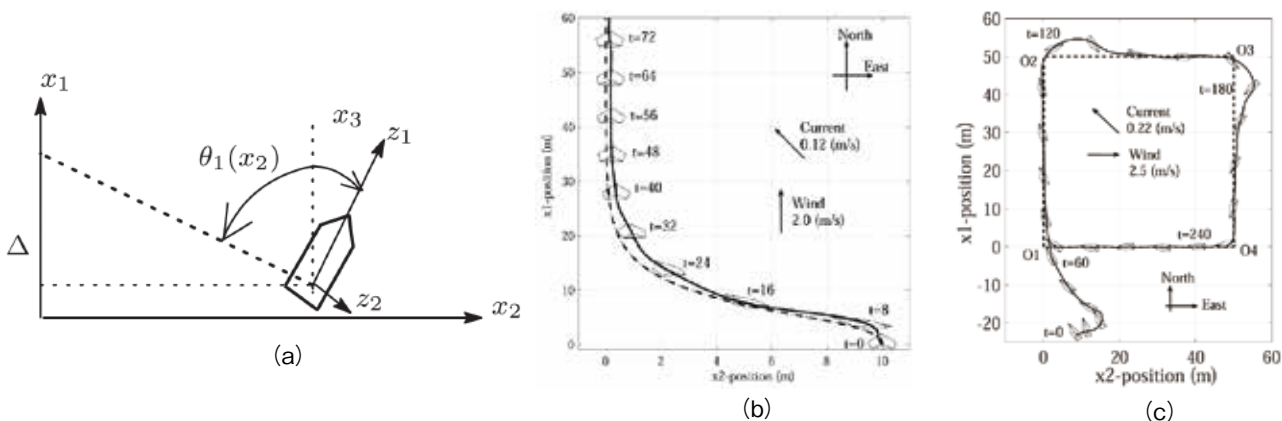
研究室HP：<http://www.mech.usp.ac.jp/~maw/index.html>

工
学
部

サンプル値系のロバスト制御・非線形制御理論の移動体の運動制御を含む機械システムのコンピュータ制御系設計への応用を研究開発しています。

■移動体（ボートや車両）の運動制御

非線形サンプル値制御理論を用いた船舶等の移動体の運動制御系の設計法を開発した。下記に、開発した制御系設計法を船舶 (a) に適用した実験の (b) 直線軌道追従制御, (c) 通過点追従制御それぞれの結果を示す。



■移動体のフォーメーション制御

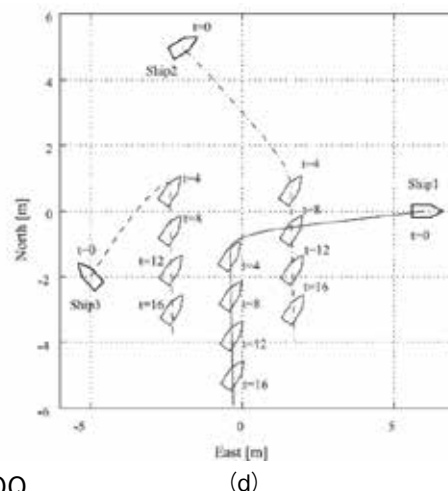
例えば、複数車両の隊列走行（プラトーン）のように、複数の移動体が目標とする配置状態を維持するような運動制御系の設計を考える。

図 (d) は3隻の船舶が三角形に配置されるように制御した時のシミュレーション結果である。

また、2輪・4輪の車両型ロボットを使って理論的な実証と現実的な応用を考えている。2輪・4輪型の車両ロボットの様々な制御の実験動画はYouTubeで公開（※）している。

※実験動画はYouTubeで公開中

<https://www.youtube.com/channel/UCkaqL9f5osPsci8SP9zN70Q>



【滋賀県立大学 研究者一覧】

研究者別 研究分野・キーワード一覧

学部学科等	職名	氏名	研究分野・キーワード	
環境科学部	環境生態学科	教授	伴 修平	水圏生態学、プランクトン生態学
		教授	大堀 道広	地震工学、強震動、微動、津波、防災
		教授	丸尾 雅啓	水圏化学、分析化学
		教授	浦部 美佐子	陸水生物学、生態、底生動物、寄生虫、分類
		教授	後藤 直成	陸水学、環境科学、生物地球化学、物質循環
		准教授	野間 直彦	植物生態学
		准教授	吉山 浩平	理論生態学
		准教授	堂満 華子	古環境学、微生物学（浮遊性有孔虫）
		准教授	細井 祥子	環境微生物学、分子微生物学
		准教授	尾坂 兼一	森林水文学 生物地球化学
		講師	籠谷 泰行	森林生態学
		講師	肥田 嘉文	環境科学、影響評価科学
		講師	荒木 希和子	植物生態学、分子生態学、環境応答
	講師	上藤 慎治	大気科学、大気汚染物質、環境動態、発生源解析	
	環境政策・計画学科	教授	上河原 献二	環境法、環境政策、地球環境条約制度、自然保護制度、外来水生植物管理
		教授	高橋 卓也	環境経営、森林政策・計画
		教授	香川 雄一	環境地理学、都市社会地理学、政治地理学
		教授	村上 一真	環境経済学、開発経済学、環境政策論、地域経済・政策論
		教授	瀧 健太郎	流域政策・計画、EcoDRR、グリーンインフラ、防災・減災
		准教授	林 宰司	環境経済学、環境政策
		准教授	和田 有朗	環境政策、環境計画、環境システム、地域システム
		准教授	平岡 俊一	持続可能な地域づくり、市民参加・協働、NPO、環境社会学
		准教授	平山 奈央子	湖沼流域ガバナンス、水資源管理、住民参加
		講師	吉川 直樹	環境システム学、ライフサイクルアセスメント
	講師	堀 啓子	環境工学、社会・生態システム	
	環境建築デザイン学科	教授	陶器 浩一	建築設計、構造計画
		教授	村上 修一	ランドスケープデザイン、景観計画
		教授	高田 豊文	建築構造学 応用力学 木質構造 地震防災
		教授	芦澤 竜一	環境建築学
		准教授	金子 尚志	都市・建築環境設計、パッシブデザイン、クリマデザイン（室内気候のデザイン）
		准教授	ヒメネス ヘルデホ ホアン ラモン	建築史・意匠 都市計画・建築計画
		准教授	轟 慎一	都市計画、地域計画、都市政策、地域環境デザイン、景観論、集落論、生活空間論
		准教授	川井 操	都市史、建築計画
講師		迫田 正美	建築歴史・意匠、建築空間論	
講師		高屋 麻里子	日本建築史、都市史	
講師		鄭 新源	建築環境工学、建築環境設備、環境性能評価、環境心理	
講師	永井 拓生	建築構造、構造力学、数値解析、自然素材、建築保存・再生		
生物資源管理学科	教授	須戸 幹	環境化学	
	教授	杉浦 省三	魚類栄養学、養魚飼料学、水産増養殖	
	教授	泉 泰弘	作物学、栽培学	
	教授	原田 英美子	植物科学、重金属、水生植物、伊吹山	
	教授	入江 俊一	応用微生物、分子生物、バイオマス変換、リグニン、木質バイオマス	
	教授	高倉 耕一	個体群生態学、行動生態学	
	准教授	岩間 憲治	土壌物理学、灌漑排水学、GIS（地理情報システム）	
	准教授	上町 達也	園芸学	
	准教授	清水 顕史	植物遺伝育種学	
	准教授	増田 清敬	LCA、環境経済学、農業経済学	
	准教授	皆川 明子	生態工学、農業土木	
	准教授	泉津 弘佑	植物病理学	
	講師	飯村 康夫	土壌学	
	講師	畑 直樹	蔬菜園芸学、植物工場	
	講師	中川 敏法	反芻家畜、飼料開発、未利用資源、家畜飼養学、飼料開発学、動物栄養学	
	講師	住田 卓也	植物病理学	
	講師	加藤 恵里	獣害対策、農村ホスピタリティ、農山村、コミュニティ、自然、地域資源、地域振興、野生動物管理	
	講師	松田 壮頭	灌漑排水学、土壌水文学、農業気象学、農業環境工学	

研究者別 研究分野・キーワード一覧

学部学科等	職名	氏名	研究分野・キーワード	
工学部	材料化学科	教授	仲村 龍介	金属材料
		教授	松岡 純	ガラス科学、熱物性、力学特性、無機材料
		教授	奥 健夫	エネルギー環境材料、光、量子情報、エネルギー、太陽電池
		准教授	宮村 弘	金属材料学、金属間化合物、表面処理
		准教授	山田 明寛	無機材料
		准教授	秋山 毅	エネルギー環境材料
		講師	西脇 瑞紀(兼務)	無機材料
		講師	鈴木 厚志	エネルギー環境材料 太陽電池 量子コンピューター
		教授	徳満 勝久	有機複合材料、高分子物性
		教授	金岡 鐘局	高分子精密合成、高分子機能
		教授	北村 千寿	有機環境材料、有機化学
		准教授	竹下 宏樹	高分子構造、高分子物性
		准教授	谷本 智史	高分子機能設計、ブロックポリマー、相分離、ミセル、ペプチド、吸着、表面、界面、微粒子、バイオミネラリゼーション、キチン・キトサン、貴金属イオン
		准教授	加藤 真一郎	構造有機化学、超分子化学、物理有機化学
	講師	木田 拓充(兼務)	高分子物性、高分子構造、分光測定	
	講師	伊田 翔平	高分子合成、精密合成、リビング重合、高分子ゲル	
	講師	竹原 宗範	生体機能材料、応用微生物学、遺伝子工学、生物工学、有機環境材料	
	機械システム工学科	教授	山根 浩二	内燃機関、バイオディーゼル、燃焼、ディーゼル噴霧、油化学
		教授	南川 久人	流体工学、混相流工学、気泡工学、ファインバブル
		教授	奥村 進	ライフサイクル工学、品質設計、メンテナンス工学
		教授	門脇 光輝	偏微分方程式論、特に数学的散乱理論
		教授	呉 志強	振動工学、計算工学、振動、共振、形状最適化、最適設計、FEM解析
		教授	片山 仁志	制御工学、制御理論、システム工学
		教授	田邊 裕貴	材料強度学、破壊力学、表面改質、非破壊検査
		准教授	山野 光裕	ロボット工学、メカトロニクス、機械制御
		准教授	橋本 宣慶	生産加工学、人間工学、人工現実感
		准教授	河崎 澄	エネルギーと動力、燃焼工学、内燃機関
		准教授	安田 孝宏	流体工学、流体騒音
		准教授	大浦 靖典	機械ダイナミクス、振動工学
		准教授	和泉 遊以	材料強度学、破壊力学、表面改質、非破壊検査
		講師	西岡 靖貴	アクチュエーター、ソフトメカニクス、空気圧制御システム
	講師	田中 昂	機械力学、振動工学、構造ヘルスマonitoring	
	講師	出島 一仁	熱工学、伝熱工学、MEMS	
	電子システム工学科	教授	柳澤 淳一	デバイス工学、半導体プロセス工学、イオンビーム工学
		教授	岸根 桂路	集積システム、超高速通信システム、アナログ・デジタル混載集積回路、センサシステム
		准教授	一宮 正義	デバイス工学、光物性、超高速分光
准教授		土谷 亮	集積回路、アナログRF回路、低消費電力技術	
講師		井上 敏之	集積回路、無線通信、光ファイバ無線	
講師		番 貴彦	半導体デバイス、記憶素子、ナノ粒子、2次元材料	
教授		乾 義尚	パワーエレクトロニクス、電力工学、エネルギー変換、燃料電池	
教授		作田 健	センシング工学、磁気計測、磁気センシング応用	
准教授		坂本 眞一	未利用エネルギー、創エネルギー、環境発電、熱音響、超音波、時系列解析	
准教授		小林 成貴	走査型プローブ顕微鏡、表面・界面科学	
講師		平山 智士	電磁流体力学、プラズマ工学	
教授		酒井 道	メタマテリアル科学、プラズマ理工学	
教授		砂山 渡	データマイニング、知能情報工学、教育工学	
准教授		宮城 茂幸	デジタル信号処理、画像処理、時系列解析	
准教授	服部 峻	ウェブ知能、時空間DB、ゲーム情報学		
講師	榎本 洸一郎	画像工学、システム情報科学、農林水産業、実応用		
ガラス工学研究センター	教授	松岡 純(兼務)	ガラス科学、熱物性、力学特性、無機材料	
	准教授	山田 明寛(兼務)	無機材料	
	講師	西脇 瑞紀	無機材料	
	講師	木田 拓充	高分子物性、高分子構造、分光測定	

研究者別 研究分野・キーワード一覧

学部学科等	職名	氏名	研究分野・キーワード
地域文化学科	教授	市川 秀之	日本民俗学
	教授	亀井 若菜	日本美術史
	教授	京樂 真帆子	平安京、都市社会史、女性史
	教授	東 幸代	日本近世史
	教授	佐藤 亜聖	考古学、文化財科学、歴史学
	教授	塚本 礼仁	人文地理学
	教授	石川 慎治	保存修景、建築史
	准教授	萩原 和	景観まちづくり、都市農村における地域計画
	准教授	横田 祥子	社会人類学、宗教人類学、地域研究
	准教授	櫻井 悟史	歴史社会学、文化社会学、犯罪社会学、日本近現代史
	准教授	金 宇大	世界遺産学、アジア考古学
	講師	木村 可奈子	東アジア国際関係史
	講師	高木 純一	日本中世史、村落史
	生活デザイン学科	教授	印南 比呂志
教授		横田 尚美	服飾文化史、西洋服装史、日本洋装史
教授		森下 あおい	服飾デザイン、被服構成学
教授		藤木 庸介	建築計画、伝統的居住文化の維持・保全、都市計画、家政・生活学一般、自律的観光
准教授		佐々木 一泰	空間デザイン、建築デザイン、構法研究、建築史・意匠、家政・生活学一般
准教授		山田 歩	行動経済学、ナッジ、消費者心理学、マーケティング
講師		徐 慧(ソ-ヘ-)	視覚伝達デザイン、グラフィックデザイン、イラストレーション、ブランディング
生活栄養学科	講師	大江 由起	建築・住環境、照明環境、色彩環境
	教授	矢野 仁康	病態栄養学、分子細胞生物学
	教授	中井 直也	運動栄養学
	教授	辰巳 佐和子	臨床栄養学、腎臓内科学、骨代謝学
	教授	福渡 努	栄養神経科学、栄養生理学、食品機能学 食品、栄養、代謝
	准教授	佐野 光枝	食品学、栄養生化学、分子栄養学、発生生物学、食生活学
	准教授	青木 るみ子	給食経営管理、衛生管理、調理科学、健康教育
	准教授	遠藤 弘史	病態栄養学、分子細胞生物学
	准教授	今井 絵理	公衆栄養学、栄養疫学、応用栄養学、食生活学
	准教授	東田 一彦	運動生理・生化学、スポーツ栄養学
	准教授	桑原 頌治	栄養学、臨床栄養学、腎臓内科学
	講師	安澤 俊紀	栄養学、病態生理学、臨床栄養学
	講師	畑山 翔	基礎栄養学、食品微生物学
	講師	田中 大也	病態栄養学、分子細胞生物学
人間関係学科	教授	高梨 克也	コミュニケーション科学、身体動作学
	教授	松嶋 秀明	臨床心理学
	教授	上野 有理	発達心理学、比較認知科学、霊長類学
	教授	丸山 真央	地域社会学、都市社会学
	准教授	大野 光明	歴史社会学、社会運動論、社会運動史、沖縄、軍事化、「戦後」史
	准教授	杉浦 由香里	教育学、教育史
	准教授	本宮 裕示郎	教育方法学、教養論、学力論
	准教授	原 未来	若者支援、ひきこもり、青年期教育
	講師	中村 好孝	社会学（社会学史、障害者福祉）
	講師	谷口 友梨	社会心理学、実験心理学
国際コミュニケーション学科	教授	棚瀬 慈郎	文化人類学、チベット学、チベット地域研究
	教授	呉 凌非	言語処理・言語学
	教授	ジョン リビー	英語
	教授	ボルジギン ブレンサイン	社会史、現代中国研究、モンゴル研究
	教授	吉田 悦子	言語学、談話分析、語用論
	准教授	山本 薫	英文学、英国小説、ヨーロッパ現代思想
	准教授	吉村 淳一	ドイツ語学
	准教授	河 かおる	朝鮮近代史
	准教授	マーティン ホークス	留学英語対策講座
	准教授	中谷 博美	認知言語学、語用論、英語教育
講師	間 永次郎	社会思想史、南アジア地域研究、ポストコロナ論、宗教学	
講師	岡本 夢子	フランス文学、フランス語圏文化、文学社会学	

人間文化学部

研究者別 研究分野・キーワード一覧

学部学科等	職名	氏名	研究分野・キーワード		
人間看護学部	人間看護学科	教授	伊丹 君和	基礎看護学、基礎看護技術、看護教育、教育学	
		教授	越山 雅文	産婦人科学、母性看護・助産、女性の健康・周産期ケア、浮腫診断・治療、子宮頸がんの診断・予防	
		教授	坪井 宏仁	心身医学、精神神経免疫学、国際保健	
		教授	本田 可奈子	救急看護、看護教育、看護管理	
		准教授	米田 照美	基礎看護学、看護管理学、医療安全教育、危険認知、視線計測、看護者（看護学生・看護師）	
		講師	関 恵子	基礎看護学、基礎看護技術、医療福祉工学	
		講師	千田 美紀子	基礎看護学、看護教育	
		教授	古株 ひろみ	臨床看護学、小児看護、家族看護	
		教授	千葉 陽子	生涯発達看護学 助産学	
		准教授	板谷 裕美	母性看護・助産学、ウィメンズヘルス、助産ケア、母乳育児、助産師のキャリア発達支援	
		准教授	川端 智子	小児看護、子どもと喫煙、未成年の喫煙防止教育、NICU	
		准教授	古川 洋子	地域看護学、母性看護学、助産学、いのちの教育、産み育て支援、社会的養護	
		講師	子安 恵子	母性看護学、助産学	
		講師	玉川 あゆみ	地域看護学、小児看護学、発達障害児の外来受診、家族支援	
		講師	松原 千晴	母性看護学、助産学	
		講師	渡邊 友美子	母性看護学、助産学、生涯発達看護学	
		教授	糸島 陽子	エンドオブライフケア、成人看護学、生命倫理	
		教授	岡本 紀子	高齢看護学、感染予防、地域看護学	
		教授	横井 和美	臨床看護学、基礎看護学、慢性期の看護、看護管理	
		准教授	荒川 千登世	臨床看護学、成人看護学、急性期ケア、回復期ケア、看護教育	
		講師	生田 宴里	臨床看護学、クリティカルケア看護、成人看護学	
		講師	岡崎 瑞生	看護学、老年看護学、生活の質	
		講師	小野 あゆみ	成人看護学、慢性期ケア、肝疾患患者の看護	
		講師	片山 将宏	成人看護学、慢性疾患看護、脳血管障害、外来看護	
		講師	喜多下 真里	成人看護学、がん看護、緩和ケア	
		講師	中川 美和	成人看護学、慢性期ケア、糖尿病患者の看護	
		講師	松井 宏樹	老年看護学	
		教授	新井 香奈子	在宅看護学、老年看護学、地域看護学	
		教授	牧野 耕次	生涯発達看護学、精神看護学、かかわり、巻き込まれ、involvement	
		准教授	川田 陽子	精神看護、専門看護師実践	
		准教授	小林 孝子	公衆衛生看護学、母子保健	
		准教授	馬場 文	公衆衛生看護学、児童虐待防止対策	
		准教授	森本 安紀	在宅看護学、民俗学	
		講師	大羽 詩織	看護小規模多機能型居宅介護、多胎児支援、看護教育	
		講師	川口 恭子	公衆衛生看護学、保健師活動、ひきこもり、家族支援	
		講師	國丸 周平	在宅看護学、成人看護学、意思決定支援	
		講師	下通 友美	精神看護学	
		全学共通教育推進機構	准教授	坂本 輝世	外国語教育論、ライティング教育
			講師	サンフォ ジャンパティスト	教育開発、教育品質
			講師	真島 アマンダ	英語教授法、応用言語学
			講師	近藤 佑樹	アメリカ文学、アメリカ文化
		地域共生センター	教授	鵜飼 修	都市計画・建築計画、地域研究、地域計画、地域活性化、環境共生まちづくり、コミュニティ・ビジネス
			講師	上田 洋平	地域学、地域文化学
地域ひと・モノ・未来 情報研究センター	准教授	杉山 裕介	偏微分方程式		

※詳しい研究者情報は、ホームページ (<http://db.spins.usp.ac.jp/>) をご覧ください。

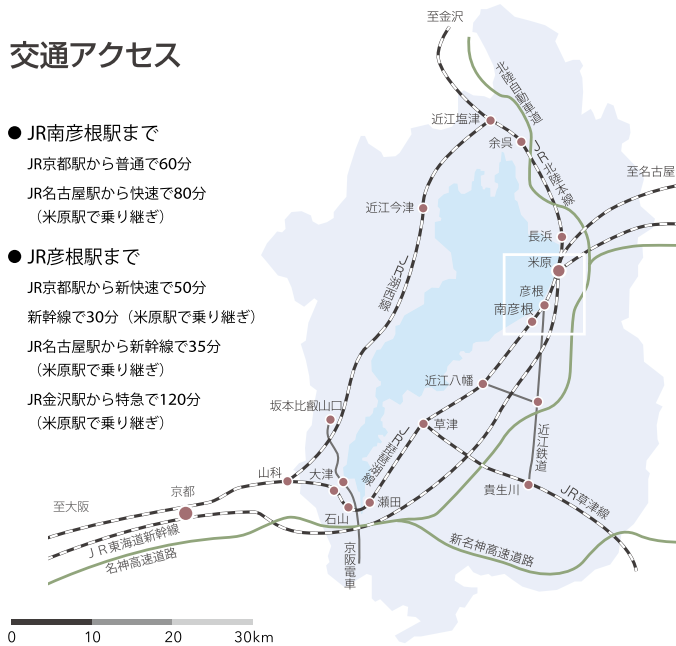
交通アクセス

● JR南彦根駅まで

JR京都駅から普通で60分
JR名古屋駅から快速で80分
(米原駅で乗り継ぎ)

● JR彦根駅まで

JR京都駅から新快速で50分
新幹線で30分 (米原駅で乗り継ぎ)
JR名古屋駅から新幹線で35分
(米原駅で乗り継ぎ)
JR金沢駅から特急で120分
(米原駅で乗り継ぎ)



大学周辺マップ

● JR南彦根駅から大学まで

バスで15分 (南彦根駅西口：南彦根県立大学線)
タクシーで10分

● JR彦根駅から大学まで

バスで25分 (彦根駅：三津屋線)
タクシーで15分

● 名神彦根ICから大学まで

車で20分 (6.5km)



大学構内図



公立大学法人滋賀県立大学 産学連携センター

〒522-8533

滋賀県彦根市八坂町 2500

TEL:0749-28-8604/8610 FAX:0749-28-8620

E-mail: sangaku@office.usp.ac.jp

ホームページ : <https://www.usp.ac.jp/chiikisangaku/center/>